

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

令和 3年 8月 3日

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 新郷工場

(2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町新郷1-4

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業
細分類番号:2353

2 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度を基準年度とし、平成28年度から令和2年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成24年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
エネルギー 起源CO ₂	3.48	3.20 -8.0	4.11 -18.1	4.16 -19.5	4.20 -20.7	4.94 -42.0	4.60 -32.1
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	1.340	1.233 -8.0	1.493 -11.4	1.524 -13.7	1.576 -17.6	1.992 -48.7	2.024 -51.0
実績に対する 自己評価	コロナウイルスの影響で減産したが、暖機運転時間など内製高に反映されないエネルギーの使用量が変わらない為、令和2年度の排出量が削減できなかった						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	重油使用量の削減	重油使用量を2020年までに2012年比 原単位8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・可動率向上、不良低減 ・溶解炉耐火物更新、 ・溶解炉ター蓋更新
2	LPG使用量の削減	LPG使用量を2020年までに2012年比 原単位8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ムダな予熱によるガス費の低減 ・非可動削減・不良低減によるガスの使用量低減 ・LPG漏洩危険箇所点検、改善
3	電気使用量の削減	電気使用量を2020年までに2012年比 原単位8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアー漏れパトロールの実施 ・コンプレッサー省エネ運転：エアーモレ低減、漏れ箇所の撲滅 ・高効率照明への切り替え ・ケースラインエアー消費量低減
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	産業廃棄物排出量の削減	廃液を2020年末までに2013年比 20%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理量削減（リサイクル物の売却、再使用可能な物のパトロール実施等） ・リサイクル継続活動の継続
2	紙購入量の削減	紙を2020年末までに2013年比 8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・保管期限切れ書類の見直し整理 ・三次元測定済み裏紙利用
3	切削油使用量の削減	2020年末までに2013年比 13%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・クラーンモレ低減 ・オイルスキマー装置の見直し（クラーンを持ち出さない様に調整）

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。